



4.22
mon

子どもたちの笑顔が生きがい

「子ども文庫助成事業」贈呈

市内で活動するボランティア団体の七夕おはなし会(会員25人)が、伊藤忠記念財団の「子ども文庫助成事業」による30万円の贈呈を受けたことを市長に報告しました。

七夕おはなし会は、老人福祉大学(現：たなばた学遊倶楽部)で読み聞かせを学んだ受講生で結成され、市内の保育所・幼稚園、小中学校、老人ホームなどで、読み聞かせを行い、子育て支援にも携わっています。

「子どもたちの喜ぶ顔が生きがい」笑顔がこぼれる会員の皆さんは、「今後、絵本やパネルシアターなどを購入し、活動を充実させたい」と話されました。



一面に広がるピンクの絨毯

「味坂ポピーまつり」

5.11
sat

5.12
sun

ポピー約100万本、ルピナス約7,000株が農地いっぱい咲き誇る味坂ポピー園(光行)で味坂ポピーまつり(味坂21の会主催)が開催され、多くの家族連れなどが訪れました。

会場では、手作りのお弁当や旬の野菜などが販売され、多くの人でにぎわいました。

満開となったポピーに囲まれ、お弁当を食べたり、散策をしたりする人も多く見られ、訪れた人たちを楽しませていました。

ものがたりレシピをいただきます

4.23
tue

「子ども読書の日」

「子ども読書の日」に合わせて、のぞみが丘小学校2年生に、平安正知市長をはじめ、清武輝教育長、加地良光さん(TVQ九州放送)と担任の先生たちが絵本の読み聞かせを行いました。

読み聞かせが始まると子どもたちは、ページがめくられるたびに歓声をあげて喜んでいました。

読み聞かせ後の給食には、絵本「おばけのてんぷら」にちなみ「ちくわのてんぷら」が登場。子どもたちはてんぷらをほおばって「おいしい!」など、絵本の面白さを、読むだけでなく、味わっていました。



紫色のカーテンを堪能

4.20
sat

5.6
mon

「将軍藤まつり」

樹齢約600年の将軍藤の開花に合わせて、「将軍藤まつり」(将軍藤保存会主催)が開催されました。

見事な花を咲かせた藤棚の下には花見席が設けられ、地元の保存会やシルバー人材センターが出店し、多くの観光客で賑わいました。

また、日暮れから夜にかけて花がライトアップされ、藤の美しさを際だたせていました。訪れた観光客からは「きれい」「すごい」などと感嘆の声が上がっていました。





花立山の春を楽しむ

「春の茶会」

5.3
fri

市内唯一の山、花立山を楽しもうと、「春の茶会」(花立山を楽しむ会主催)が城山公園で開催されました。

公園内の藤棚の下では、地元の茶道グループによる茶会、体験コーナーが開かれ、訪れた人は香り豊かなお茶を堪能していました。

また、採れたての野菜や特産品などが販売されたほか、毎年恒例のひよっこ踊りも行われ、多くの来場者でにぎわいました。



目指せ！世界の舞台を

九州少年少女 レスリング大会入賞

三井ラビットレスリングクラブ(監督 平田傑さん)が5月4・5日に熊本県玉名市で行われた第27回九州少年少女レスリング選手権大会で、12人が上位入賞(内優勝2人)を果たしました。

三井ラビットレスリングは、平成12年に設立され、中学生以下の子どもたち20人が毎週火・金曜日に三井高等学校で練習しています。

平田さんは「スポーツのおもしろさ、体を動かすことの楽しさを感じてほしい。将来は世界で活躍するような選手になってくれれば」と話されました。

第18回保育フェスタ

「はなちゃんのみそ汁」 ～食について考える～

5.12
sun

「食」＝「食育」をテーマに保育協会主催により開催された保育フェスタ。市内の保育所(園)12園の特色ある取り組みの展示と著書「はなちゃんのみそ汁」で有名な安武信吾さん(西日本新聞社)の講演、試食が行われ約200人が来場しました。

講演は、「食がいのちをつくる」ことから、講師の実体験に基づいた食の摂り方の重要さや食を通じた子育ての内容で、実際にお子さんの「はなちゃん」監修の天然だしと手作りの味噌で作られた味噌汁と玄米おにぎりの試食もふるまわれました。

「次世代を背負う子どもたちにとって大事な「食」について学び、家庭でも生かしてほしい」との思いを十分に体感できたフェスタでした。



子どもたちと一緒にぐんぐん育て

「市野球場に植樹」

少年野球チーム「大原ホワイトピッキーズ」(監督 井上正身さん)が6月に主催する創部30周年記念大会開催を記念して、市野球場駐車場の入り口付近にハナミズキを植樹しました。

「大原ホワイトピッキーズ」では、この植樹に「ハナミズキが成長していくように、子どもたち、そしてチームもともに成長していけるように」という願いを込めています。

